

2024年度事業計画

特定非営利活動法人 埼玉NGOネットワーク

特定非営利活動法人埼玉NGOネットワークは、定款第5条に則り、2024年度の活動方針を次のように計画します。（2024年3月28日 理事会決定）

1. NGOの強化事業、NGO間の協力事業

会員NGOにとって魅力あるネットワーク組織であることを引き続きめざします。そのため、会員NGOはもとより、埼玉県内の国際分野NGOの活動促進に寄与する活動を進めます。

***重点活動：**国際分野NGOの活動をさらに幅広く訴え、幅広い人々への浸透を促進します。定例会での各NGOの活動報告と主張、各種セミナー・イベントでの国際分野NGOの広報、埼玉NGOネットワーク会員団体・個人を中心として開催される各種イベントへの参加（協力、後援、出展など）、その他。

(1) 総会の開催

定期総会を6月27日（木）に開催し、2023年度事業報告及び決算、その他議案の決定を行います。

(2) 理事会機能の強化、事務局機能の補充

基本方針・予算確定・人事などの基本理事会のほか、必要に応じて随時、理事会を開催し、会員の意見を集約しつつ、事業実施の円滑化に努めます。

事務局機能の円滑化に当たっては、事業運営の役割分担、会計処理、HPの活性化、行政機関等外部組織との対応などについて、理事会内で分担するとともに、会員また外部の協力を求めていきます。

(3) 定例会・情報交換会、公開勉強会等の開催

2024年度も、例年通り定例会・情報交換会、また公開勉強会等を開催します。この会合は、埼玉NGOネットワークの重要基本事業のひとつであり、会員の参加はもとより、県内外の行政機関、協力団体、関心ある会員外のNGOや個人の参加を広く求めています。

公開勉強会では、外部講師を招く場合の謝金を計上します。

(4) 会員事業への協力、会員間の情報提供・ネットワーキング促進

会員が実施する事業について、定例会（情報交換会）、メーリングリスト等で幅広く広報等に協力するとともに、埼玉NGOネットワークとしても必要に応じて、共催・協力等の支援を行います。

(5) ホームページ等による情報発信、広報の強化

埼玉NGOネットワークのホームページ（HP）のいっそうの充実を図ります。ネットワーク

事業、会員事業等の情報を発信し、広く理解促進や参加を図ります。

(6) 会員の入会促進

埼玉県で活動するNGO諸団体、関心のある個人に対して、埼玉NGOネットワークの会員入会を、幅広く呼びかけます。現会員からの呼びかけが最も重要になります。

新規入会目標 団体会員+3 個人会員+2

2. グローバル市民育成事業、市民向け理解促進事業

NGOは、幅広い市民によって構成され、支えられます。関心をもつ幅広い市民への情報提供や、共に考え議論する場の設定、協働行動促進の呼びかけなどを、2024年も引き続き行います。会員（団体、個人）が、それぞれの専門分野を活かして、推進していきます。

***重点活動：強い危機感をもって、SDGs（持続可能な開発目標）の再点検と活動推進に向けて、幅広い県民・市民を対象に、論議と行動を推進します。国際分野NGOの役割についても検討と提案を行います。**

(1) グローバルセミナー2025の開催

2023年度は、コロナ禍の収束を受けて、久しぶりに完全対面開催として実施されました。2024年度も、引き続き開催にむけて準備を進めます。

- 開催時期：2025年2月
- 主催：JICA東京（埼玉デスク）との共催で実施
- 開催内容：

（午前）教師海外研修報告会

（午後）「グローバルセミナー2025」案

SDGs（持続可能な開発目標）が制定されて9年目を迎える2024年、2030年までの残り6年間で何をしなければならないのかを、今いちど掘り下げます。何がもっとも重要なことなのか、そのために何をすることがもっとも大切なことなのか。「平和」「人権」「環境」をめぐる問題が、なぜ今さらにいっそう深刻になっているのか、そしてそもそも「開発」はいかに進められるべきか。国連が掲げてきた、これら4つの基本を軸に、これまで進めてきた「多文化共生」の視点に立って、SDGsを再考します。そもそも何のためのSDGsなのか・・・。

国際分野NGOのネットワーク組織だからこそできる行動（アクション）について、埼玉県内の関係機関と共に考え、実践の方向を提案する機会とします。

- この事業の予算については、通常会計に計上します。

(2) 国際フェアへの協力、出展

昨年度に引き続き、埼玉県国際交流協会（SIA）主催の「国際フェア」開催にむけて協力、出展を行います。

各機関・団体の活動紹介だけでなく、世界の現下の課題についての問題提起の場ともします。

(3) 会員団体等の活動の奨励、参加

会員団体・機関が主催する会合・イベント等を奨励し、またその活動に参加し、国際分野NGOの活動紹介、SDGs等の社会課題を訴えます。

3. 埼玉県内の関係機関等との連携事業

埼玉県内の行政機関、国際交流・協力機関等との連携を、今年度も一層推進していきます。特に重要性・緊急性を持ったテーマについては、アドボカシー（主張・提言）活動として、関係機関への申入れ・協議の場を持っていきます。

重点活動：「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」の活動などを通して、国際分野の行政関係機関、特に県市町村の「国際交流協会」等との連携を強め、国際分野NGOとの協力活動のいっそうの進展に努めます。

(1) 埼玉県国際課等の連携

埼玉県国際交流協会（SIA）とも緊密な連携をとりながら、埼玉県事業への協力と提言、また埼玉NGOネットワーク事業への支援・協力を求めています。信頼を持った緊張関係を保持しながら、共に埼玉県内の国際協力事業、多文化共生事業の推進に努めます。

2024年度は、特に「対話」を重視し、折に触れて県の関係部署、担当者との意見・情報交換の機会を作ります。

(2) 埼玉県計画調整課との連携

埼玉県SDGs官民連携プラットフォームの加入を継続し、情報交流に努めます。

(3) 公益財団法人埼玉県国際交流協会（SIA）との連携

さまざまな分野での活動に連携し、協力しながらの活動推進に努めます。特に「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」の代表幹事団体として、その責務を果たします。この事業を通して、県内各市町村（行政）の関係機関、また県内の多くの国際分野NGOとの交流・連携を進めます。

(4) 国際協力機構（JICA）・埼玉デスクとの連携

グローバルセミナーの共催、定例会・情報交換会での情報発信など、引き続きしっかりと連携を継続していきます。JICA東京との協議・連携、NGO-JICA協議会への参加も継続します。

(5) さいたま市都市戦略本部との連携

さいたま市と締結した「さいたま市CS・SDGsパートナーズ共同宣言」に基づき、SDGsの達成にむけて、共に取り組みます。

(6) 埼玉県国際理解教育研究会との連携

8月24日（土）にさいたま市大宮区で開催される関東ブロック大会に、分科会指導者派遣や埼玉NGOネットワークの展示紹介などを行います。

4. 全国のNGOネットワークまた政府機関との連携事業

私たちの活動は、埼玉県内だけで完結するものではなく、むしろ世界大の視野に立っての主張・行動、世界中のNGO諸団体や国際機関等との連携が求められます。

そのためにも、まずは日本国内での、同様の活動にとりくむネットワーク組織との連携、日本政府（関係機関）との連携を促進します。

(1) 全国のネットワークNGOとの連携

全国12の地域ネットワークNGOの連携に参加し、情報・意見交換、相互学習、事業連携を図ります

(2) 国際協力NGOセンター（JANIC）との連携

JANICが進める、世界的な視野に立ってのさまざまなアドボカシー（主張・提言）を受けとめ、引き続き埼玉NGOネットワークとしての意思表示を行います。

(3) NGO・JICA協議会への参加

2024年度もNGO・JICA協議会メンバーとして、そのためのNGO会議正会員の年会費を計上します。

5. その他

(1) 登記簿上の所在地の変更

登記簿上の所在地の変更が必要になっており、代替の場所を選定するとともに、定款上の団体所在地の変更がある場合は、総会に諮り決定します。

(2) 追加事業

理事会で必要と承認された追加事業。当初事業計画以外に、理事会が必要と承認した事業を推進します。